



坂下東小学校だより

坂下ひがし

坂下東小学校

令和5年7月3日

No. 7

児童会集会活動



6月28日（水）の3・4校時に「児童会集会活動」を行いました。清掃の縦割り班でグループをつくり、各教室での課題でポイントを競うという企画です。この企画は、集会委員会が中心となって考えてくれました。

課題は、輪投げ、魚釣りゲーム、的当て、コイン落とし、けん玉など様々です。全員が協力して行うものもあれば、学年で指定されているものもあります。縦割り班での活動なので、高学年が下級生の世話を十分に見てくれていて、とてもスムーズに運営できていました。下級生も、上級生の言うことをよく聞きながら楽しんで活動していました。

縦割りの活動は、先輩としての意識を育て、リーダーシップを発揮する場になっています。下級生の目標になる存在であり、自覚も高めていきます。異学年での活動には同学年での活動とは違った価値があるものです。見える世界が違うもの同士が集まるので、互いの刺激になっていることは確かです。コロナが落ち着き、人と人とが交流し合う場が増えるのは、子どもたちにとっては新しい世界との出会いの場が増えるということです。ただ単に体験するのではなく、視野の広がりが得られるのが活動の目的でもあります。



よい歯の集会

6月28日（水）に全校集会として「よい歯の集会」を行いました。

歯科検診が終わり、検診で異常がなかった児童を表彰しました。ただし、むし歯がなくても歯肉炎などがある場合は除きました。歯肉炎などの歯周病になるとむし歯でなくても抜けてしまいます。安心はできないのです。

集会は、保健委員会が企画運営しました。ずいぶん前から練習し、内容も養護教諭と相談していました。高学年の子どもたちは、ちょうど乳歯が抜けきって永久歯が生えそろった頃です。これから50年、60年と使っていく自分の歯です。大事にメンテナンスしてほしいと思います。



租税教室

6月28日（水）に「租税教室」を6年生を対象に行いました。

すでに社会科で「国民の三大義務」を学習しています。その中の1つである「税金を納めること」について本町の総務課税理管理班から4名に来てもらい授業をしていただきました。

「税金とは何か」「町の税金はどんなものに使われているか」「もし税金がなくなったらどうになってしまうのか」などについて学習しました。

本町では税金と借入金等を含めて76億円の予算を立てているそうです。子どもたちが使っているタブレット、通信量、

校舎、机、バスの通学定期代など税金で支払われていることが多いことを学んでいました。そして最後に、1億円の重さを感じ取っていました。

さて、その中で教育長様がおいでになり、子どもたちに話していただきました。

君たちが学校生活を有意義に送れるのも、地域の方の税金があるからです。地域の方は君たちを地域の宝だと思ってお金を納めてくれています。それに対して今は、お金で恩返しはできないですね。でも、道で会ったら挨拶したり、バスの運転手さんにお礼を言ったりすることで恩返しができるんじゃないかな。顔も知らない多くの町の人たちに皆さんは支えられています。そこを感じ取ってほしいです。というお話をされました。

「見えない相手への感謝」は子どもたちに身につけさせたい心の1つだと思います。



